



Cloud Volumes ONTAP データの Azure BLOB ストレージへのバックアップ

Cloud Manager

Tom Onacki, Ben Cammett
July 06, 2021

目次

Cloud Volumes ONTAP データの Azure BLOB ストレージへのバックアップ	1
クイックスタート	1
要件	3
新しいシステムでの Cloud Backup の有効化	4
既存のシステムでの Cloud Backup の有効化	5

Cloud Volumes ONTAP データの Azure BLOB ストレージへのバックアップ

Cloud Volumes ONTAP から Azure Blob Storage へのデータのバックアップを開始するには、いくつかの手順を実行します。

クイックスタート

これらの手順を実行してすぐに作業を開始するか、残りのセクションまでスクロールして詳細を確認してください。

構成がサポートされていることを確認します

- Cloud Volumes ONTAP 9.7 以降を Azure で実行している。
- バックアップを格納するストレージスペースに対する有効なクラウドプロバイダのサブスクリプションが必要です。
- に登録しておきます ["Cloud Manager Marketplace のバックアップソリューション"](#)またはを購入したことが必要です ["アクティブ化されます"](#) NetApp の Cloud Backup BYOL ライセンス。

新規または既存のシステムで **Cloud Backup** を有効にします

- 新しいシステム： Cloud Backup は、作業環境ウィザードではデフォルトで有効になっています。このオプションは必ず有効にしておいてください。
- 既存のシステム：作業環境を選択し、右パネルのバックアップと復元サービスの横にある * 有効化 * をクリックして、セットアップウィザードに従います。



プロバイダの詳細を入力します

プロバイダのサブスクリプションとリージョンを選択し、新しいリソースグループを作成するか、既存のリソースグループを使用するかを選択します。また、Microsoft が管理するデフォルトの暗号化キーを使用する代わりに、お客様が管理する独自のキーを選択してデータを暗号化することもできます。

Provider Settings

Azure Subscription

Azure_Subscription_1

Resource Group ?

☒ Create a new
☐ Use an existing

Resource Group Name

Region

Default_CM_Region

Encryption Managed Keys ?

☒ Microsoft-managed
☐ Customer-managed

バックアップポリシーを定義

デフォルトポリシーでは、毎日ボリュームがバックアップされ、各ボリュームの最新の 30 個のバックアップコピーが保持されます。日単位、週単位、または月単位のバックアップに変更するか、システム定義のポリシーの中からオプションを追加するものを 1 つ選択します。保持するバックアップコピーの数を変更することもできます。

Define Policy

Policy - Retention & Schedule

☒ Create a New Policy
 ☐ Select an Existing Policy

☒ **Daily**

Number of backups to retain

30

☐ **Weekly**

Number of backups to retain

52

☐ **Monthly**

Number of backups to retain

12

DP Volumes

Data protection volume backups use the same retention period as defined in the source SnapMirror relationship by default. Use the API if you want to change this value

Storage Account

Cloud Manager will create the storage account after you complete the wizard

バックアップするボリュームを選択します

Select Volumes（ボリュームの選択）ページで、バックアップするボリュームを特定します。

必要に応じて、データをリストアします

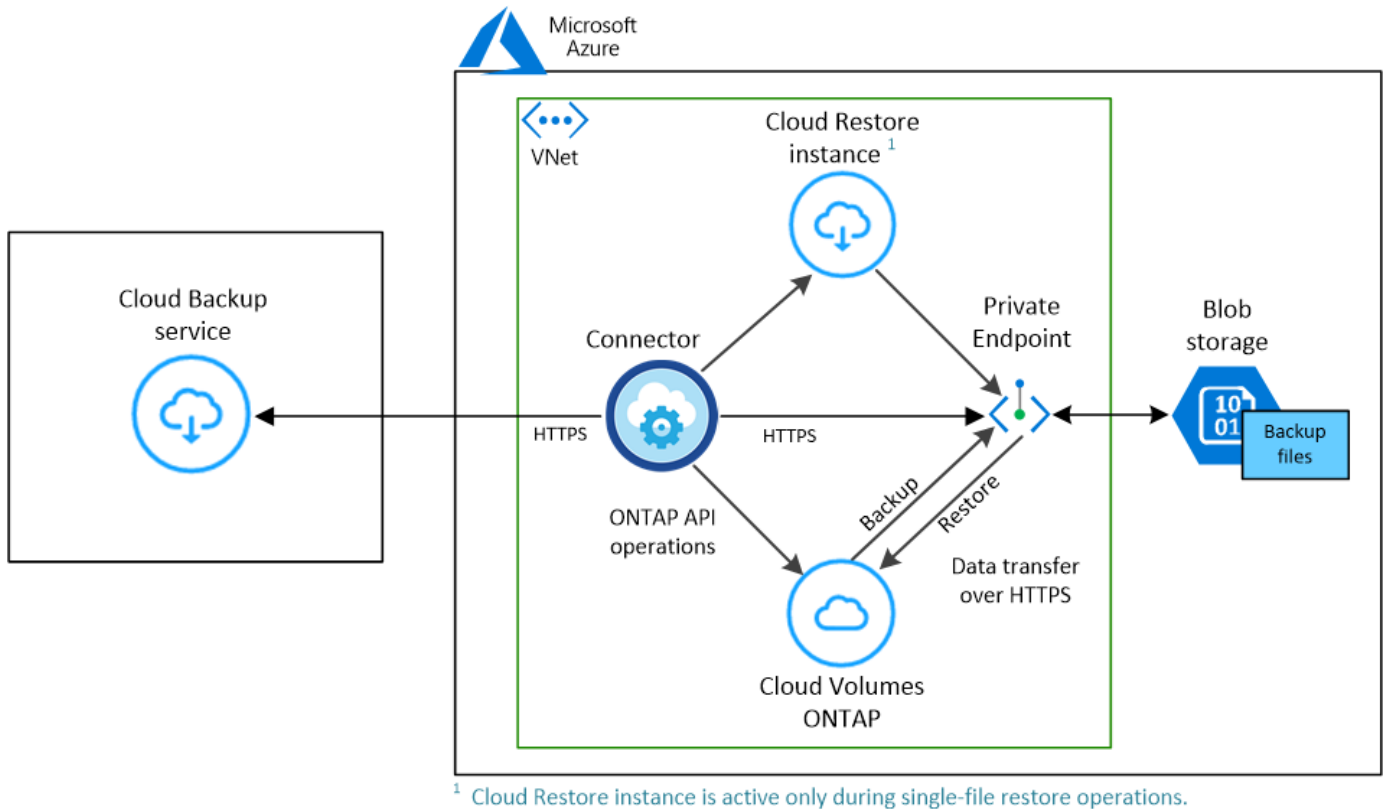
バックアップ全体を新しいボリュームにリストアするか、またはバックアップから既存のボリュームに個々のファイルをリストアするかを選択します。データは、Azure 内の Cloud Volumes ONTAP システムまたはオンプレミスの ONTAP システムにリストアできます。

を参照してください ["バックアップファイルからのボリュームデータのリストア"](#) を参照してください。

要件

Azure Blob Storage へのボリュームのバックアップを開始する前に、次の要件を確認し、サポートされている構成であることを確認してください。

次の図は、各コンポーネントとその間の準備に必要な接続を示しています。



クラウドに導入された Cloud Restore 仮想マシンは、コネクタと同じサブネットに配置されます。

サポートされている **ONTAP** のバージョン

Cloud Volumes ONTAP 9.7 以降。

ライセンス要件

Cloud Backup BYOL ライセンスには、Azure Cloud Backup サブスクリプションは必要ありません。シリアル番号はネットアップから提供される必要があります。この番号を使用すると、ライセンスの期間と容量にサービスを使用できます。を参照してください ["バックアップ BYOL ライセンスの管理"](#)。

また、バックアップを格納するストレージスペースには、Microsoft Azure サブスクリプションが必要です。

サポートされている **Azure** リージョン

Cloud Backup はすべての Azure リージョンでサポートされます ["Cloud Volumes ONTAP がサポートされている場合"](#)。

別の **Azure** サブスクリプションでバックアップを作成するために必要なセットアップ

デフォルトでは、バックアップは Cloud Volumes ONTAP システムと同じサブスクリプションを使用して作成されます。バックアップに別の Azure サブスクリプションを使用する場合は、が必要です ["Azure ポータルにログインして、2つのサブスクリプションをリンクできます"](#)。

データ暗号化にお客様が管理するキーを使用するために必要な情報

Microsoft が管理するデフォルトの暗号化キーを使用する代わりに、アクティベーションウィザードで、お客様が管理する独自のキーを使用してデータを暗号化できます。この場合、Azure サブスクリプション、キー・ボールド名、およびキーが必要です。"[独自のキーの使用方法を参照してください](#)"。

Azure 環境にはアウトバウンドのインターネットアクセスが必要です

Cloud Restore 仮想マシンには、アウトバウンドのインターネットアクセスが必要です。仮想ネットワークまたは物理ネットワークでインターネットアクセスにプロキシサーバを使用している場合は、インスタンスがアウトバウンドのインターネットアクセスを使用して次のエンドポイントに接続していることを確認してください。

エンドポイント	目的
¥ http://olcentgbl.trafficmanager.net ¥ https://olcentgbl.trafficmanager.net	Cloud Restore 仮想マシン用の CentOS パッケージが用意されています。
¥ http://cloudmanagerinfraprod.azurecr.io ¥ https://cloudmanagerinfraprod.azurecr.io	Cloud Restore 仮想マシンのイメージリポジトリ。

新しいシステムでの **Cloud Backup** の有効化

Cloud Backup は、作業環境ウィザードではデフォルトで有効になっています。このオプションは必ず有効にしておいてください。



を参照してください "[Azure で Cloud Volumes ONTAP を起動します](#)" を Cloud Volumes ONTAP 参照してください。



リソースグループの名前を選択する場合は、Cloud Volumes ONTAP を導入する際に * disable * Cloud Backup と入力します。の順に従います [既存のシステムでの Cloud Backup の有効化](#) Cloud Backup を有効にしてリソースグループを選択します。

手順

1. [Cloud Volumes ONTAP の作成 *] をクリックします。
2. クラウドプロバイダとして Microsoft Azure を選択し、シングルノードまたは HA システムを選択します。
3. Azure クレデンシャルの定義ページで、クレデンシャル名、クライアント ID 、クライアントシークレット、およびディレクトリ ID を入力し、* 続行 * をクリックします。
4. 詳細とクレデンシャルページに必要事項を入力し、Azure Marketplace サブスクリプションが登録されていることを確認して、「* Continue *」をクリックします。
5. [サービス] ページで、サービスを有効のままにして、[* 続行] をクリックします。

 Backup to Cloud 

Integrated backup for Cloud Volumes ONTAP based on SnapMirror and Snapshot technologies. Backup copies are maintained in Storage Accounts. Backups stored in Storage Accounts are charged separately from Cloud Volumes ONTAP.

ADVANTAGES

- ✓ Automatically back up all volumes.
- ✓ Creates new backup copy every day.
- ✓ Retains backups for 30 days.

CLARIFICATIONS

- > Backup settings are editable after working environment creation.

6. ウィザードの各ページを設定し、システムを導入します。

Cloud Backup はシステムで有効になり、ボリュームを毎日バックアップして、最新の 30 個のバックアップコピーを保持します。

可能です "ボリュームのバックアップを開始および停止したり、バックアップを変更したりできます [スケジュール](#)" また、次のことも可能です "ボリューム全体または個々のファイルをバックアップファイルからリストアする"。

既存のシステムでの **Cloud Backup** の有効化

作業環境から Cloud Backup をいつでも直接有効にできます。

手順

1. 作業環境を選択し、右パネルの [バックアップと復元] サービスの横にある [*Enable] をクリックします。



2. プロバイダの詳細を選択し、* 次へ * :

- a. バックアップの格納に使用する Azure サブスクリプション。これは、Cloud Volumes ONTAP システムとは異なるサブスクリプションにすることもできます。

バックアップに別の Azure サブスクリプションを使用する場合は、が必要です "[Azure ポータルにログインして、2つのサブスクリプションをリンクできます](#)"。

- b. バックアップを保存するリージョン。これは、Cloud Volumes ONTAP システムが配置されているリージョンとは異なるリージョンにすることもできます。
- c. リソースグループ - 新しいリソースグループを作成するか、既存のリソースグループを選択できます。
- d. Microsoft が管理するデフォルトの暗号化キーを使用するか、お客様が管理する独自のキーを選択するか ("[独自のキーの使用方法を参照してください](#)")。

Provider Settings

Azure Subscription

Azure_Subscription_1

Resource Group ?

☒ Create a new ☐ Use an existing

Resource Group Name

Region

Default_CM_Region

Encryption Managed Keys ?

☒ Microsoft-managed ☐ Customer-managed

3. [Define Policy] ページで、バックアップスケジュールと保持の値を選択し、[* Next] をクリックします。

Define Policy

Policy - Retention & Schedule ☒ Create a New Policy ☐ Select an Existing Policy

☒ **Daily** Number of backups to retain:

30

☐ **Weekly** Number of backups to retain:

52

☐ **Monthly** Number of backups to retain:

12

DP Volumes Data protection volume backups use the same retention period as defined in the source SnapMirror relationship by default. Use the API if you want to change this value

Storage Account Cloud Manager will create the storage account after you complete the wizard

を参照してください ["既存のポリシーのリスト"](#)。

4. バックアップするボリュームを選択し、* バックアップのアクティブ化 * をクリックします。

Select Volumes

57 Volumes ?

<input checked="" type="checkbox"/>	Volume Name	Volume Type	SVM Name	Used Capacity	Allocated Capacity	Backup Status
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_1	RW	SVM_Name_1	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_2	RW	SVM_Name_2	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_3	RW	SVM_Name_3	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_4	DP	SVM_Name_4	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_5	RW	SVM_Name_5	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active

- ° すべてのボリュームをバックアップするには、タイトル行 (☒ Volume Name)。
- ° 個々のボリュームをバックアップするには、各ボリュームのボックス (☒ Volume_1)。

Cloud Backup が起動し、選択した各ボリュームの初期バックアップの作成が開始されます。 Backup Dashboard が表示され、バックアップの状態を監視できます。

可能です "ボリュームのバックアップを開始および停止したり、バックアップを変更したりできます スケジュール" また、次のことも可能です "ボリューム全体または個々のファイルをバックアップファイルからリストアする"。

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.